

セックスは
気持ちいい……

んあっ

あっ

あ…

とくに
背徳的な状況

はっ

あっ

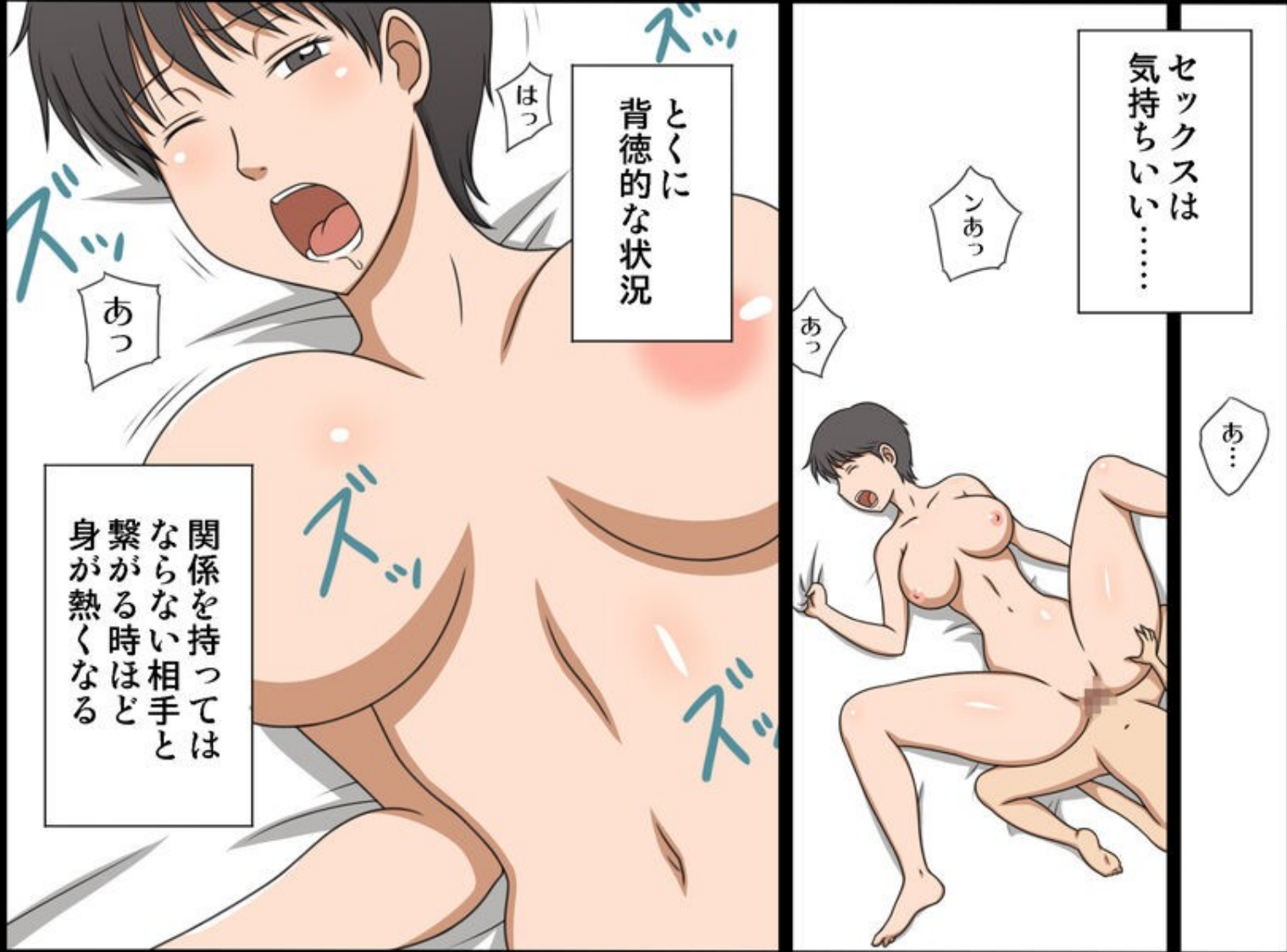
関係を持つては
ならない相手と
繋がる時ほど
身が熱くなる

たとえば
それは

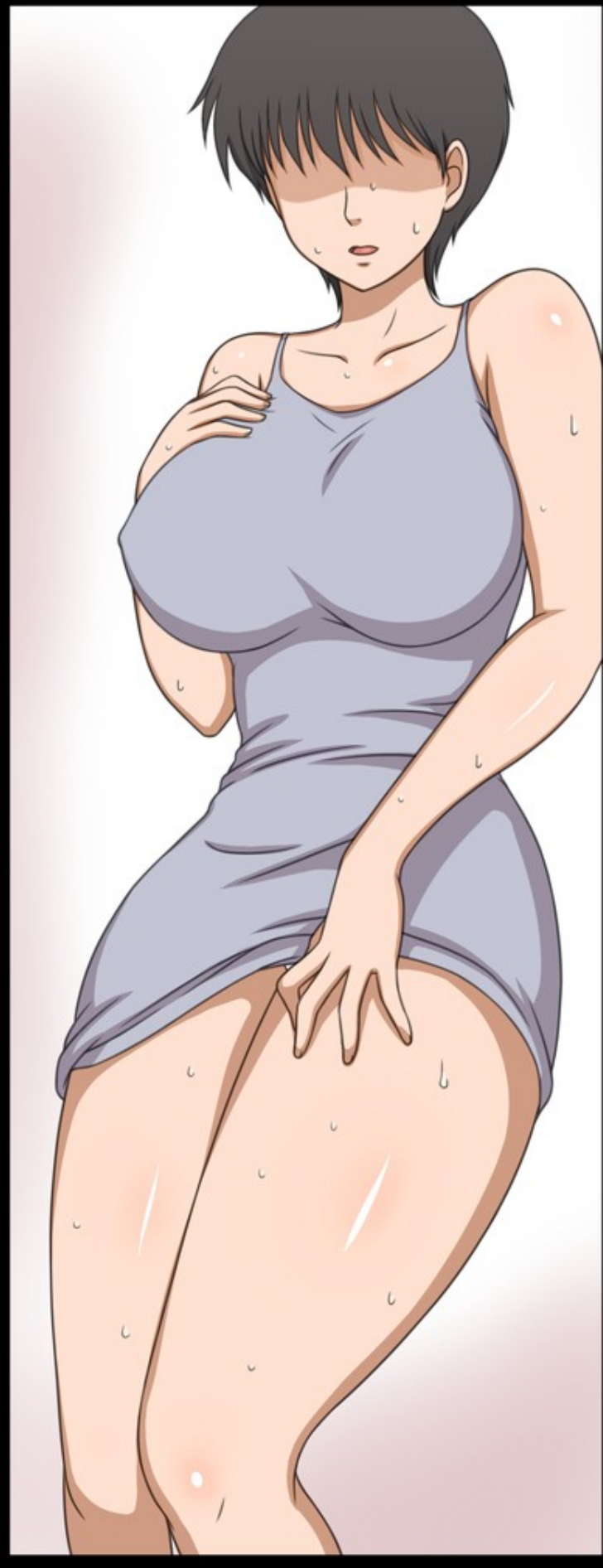
んっ

相手が自分の
息子の時で
あったり…

あはっ…



息子に熱く火照った肉体を
慰めてもらおう女



彼の名前は圭介
私の大切な
一人息子です

親の私から見ても
とても優しく
可愛い良い子です

そんな
彼のことを
私は女の目で
見るように
なりました

いけない事なのに
意識せずには
いられません
でした

あ…

どうしても
体が火照って
うずいてしまうのです

はっ…

はあ

はあ

んんっ

我慢できずに
ついオナ○ーして
しまうくらい

7キゅ♡

7キゅ♡



だから私は 待っていたのです

あぁっ！

ふっ

あっ

そんなところで 何を見ているの？ 圭介……

いつか息子が 女の私を求めて やってくるのを……

も……

知ってる
圭介…？

のぞきって
犯罪なのよ



このことを
パパが知ったら
どう思うかしら？

あの…

ボク…

ごめん…
なさい

その時…

私は震えて謝る
圭介の股間から
目が離せませんでした…

そこには
私のオナ○ーを見て
彼が欲情した証が
あったのです

すっかりと
逆立った
ソレが…

ふふ…
大丈夫よ圭介

今日は特別に
許してあげるから…
パパには内緒

ええ…

そのかわり
これからやる事も
二人の秘密ね…

ホントに
……？

私はさっそく
かれに奉仕を
しました

あッ

うッ

ああッ

うあッ

なにっ…
これっ…??

これ気持ちいい
でしょう…??
フム…ん…

初めて知る
性の刺激に
彼の体は従順に
反応しました

うッ

あッ

ママッ…!!
どうして
おちん〇ん
なめるのお…??

あッ

ジュパッ

ヌパッ

ヌムッ

フッ

ムキッ

顔をゆがめ
狂おしくよがる
息子の姿……

私は興奮して
隆起したその肉棒に
夢中じゃぶり
ついたのです

あうっ

あッ

ぬ
ぶ
い
ぬ
ぬ
あ

あっ

あっ…

ふっ

ムキ
ムキ
ムキ

ふっ

くっ

んっ

ああっ

ムキ
ムキ
ムキ

ムキ
ムキ

ダメっ……!!

ムキ
ムキ

ムキ
ムキ

もうっ!



夫よりもずっと濃厚で
若さにあふれた
粘液を……

すごい量

ふふ…

彼は私の口内に
大量の白濁を
吐き出しました

それでもソレはおさまりませんでした



大丈夫……

教えたようにするだけでいいのよ



私は彼にさらに先へ進むよう促しました

熱くたぎった彼のものを受け入れるために

さあ来て……









圭太は
オスの本能のままに
激しく腰を振るい
ました





ズッ

うあん

やう
ズッ

ズッ

私はその中で
息子とのセックスの
気持ちよさに
ただただ翻弄される
だけでした



いつ

ズッ

あッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



あっ…
ふあっ…!!

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

はっ…激しいっ
…ああっ!!

ズッ



んああっ…
圭介ちん〇
すごいっ…!!

あっ

ズッ

ズッ

ズ

ズ

オマ〇コおかしく
なっちやううっ…!!

ズッ

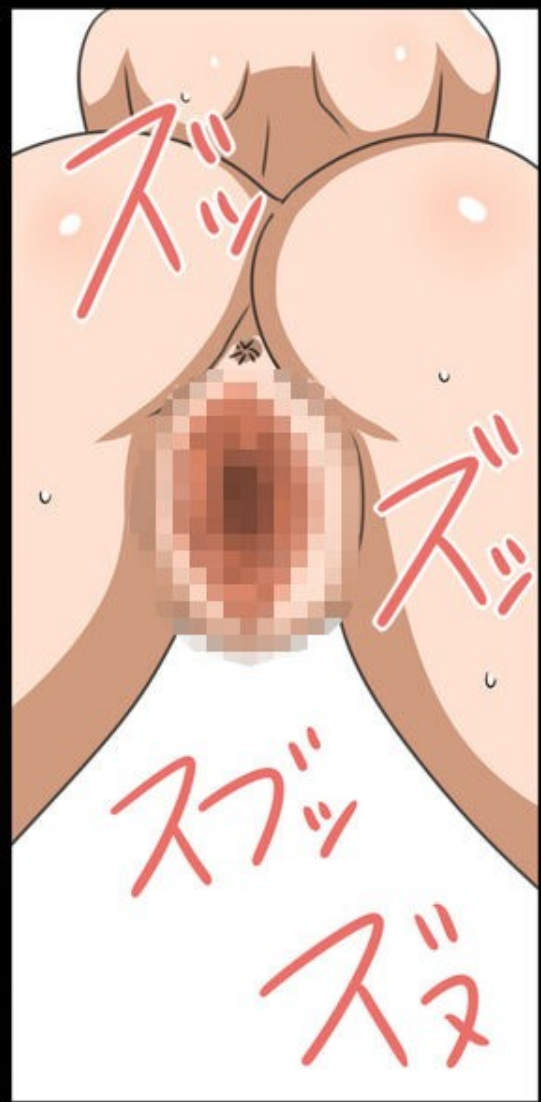
ズズ



ふはっ…
んいいいっ!!

ズ

ズズ



ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



あッ

はああっ……!



圭介チン〇
子宮にまで
届いてるうっ!

あッ

ああ……あああっ
深い……!



ズッ

あん

やっ

ズッ

あ……

ズッ



ズッ

んっ

んっ

ズッ



んあっ…

はあッ

イクイクっ…
イツクう~~~~っ!

びゅ

びゅ

びゅる

どびゅ



こうして
私達親子の

肉欲の日々が
始まったのです…

